

医学のあゆみ

第 284 巻・総目次

2023 年 1 月～3 月

イタリックの数字は頁，①～③は号数を示します
(著者名の漢字は原則として JIS コードの範囲で表記してあります)

●あゆみ欄 AYUMI ●

◇重症熱性血小板減少症候群(SFTS)研究における最新知見——感染経路，病態，予防，治療

はじめに	(西條政幸)	111②
SFTS の臨床的特徴	(山中篤志)	113②
SFTS の疫学研究における最新知見	(加藤博史)	117②
B 細胞感染による SFTS ウイルスの発病機構	(宮本 翔・鈴木忠樹)	121②
ペットのネコ・イヌにおける SFTS と ヒトへのリスク	(松鶴 彩・他)	125②
自然界における SFTS ウイルス伝播様式	(岡林環樹)	129②
抗ウイルス薬ファビピラビルと SFTS	(末盛浩一郎・他)	133②
高度弱毒化痘そうワクチン株 LC16m8 を ベースとした SFTS ワクチン開発	(吉河智城)	137②
ダニ媒介性ウイルス感染症と SFTS	(松野啓太)	143②
SFTS 重症化と自然免疫応答	(山田辰太郎・藤田尚志)	148②

◇デジタルパソロジー/サイトロロジーと AI の進歩

はじめに	(前田一郎)	177③
デジタルパソロジーの実装		
——現状の課題と将来の方向性	(津山直子)	179③
潰瘍性大腸炎におけるデジタルパソロジー・ AI の有用性	(芹澤 奏・小林 拓)	185③
子宮頸部細胞診への新しいアプローチ		
——子宮頸部細胞診における自動スクリーニング 支援装置 ThinPrep® Integrated Imager の有用性	(金田敦代・安岡弘直)	189③
病理医はいかに病理 AI 開発にコミットするか		
——胃癌／乳癌／子宮頸部細胞診診断支援 AI 開発の経験をもとに	(市原 真)	195③
前立腺がんにおける医療 AI の現状	(赤塚 純・山本陽一朗)	201③
肺疾患におけるデジタルパソロジーと AI の未来	(北村由香・福岡順也)	206③

◇小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群 (MIS-C/PIMS) の診療

はじめに	(滝田順子)	259④
小児の COVID-19 の動向	(森内浩幸)	261④
MIS-C/PIMS の疫学	(清水博之)	268④
MIS-C/PIMS の病態	(宮入 烈)	272④
MIS-C/PIMS の診断	(清水正樹)	277④
MIS-C/PIMS の薬物治療	(小柳喬幸・他)	283④
MIS-C/PIMS の全身管理	(大井 正・川崎達也)	288④
MIS-C/PIMS の今後の課題	(齋藤昭彦)	292④

◇遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)の必修知識

——最新の研究成果を礎に， HBOC 診療を次のステージへ		
はじめに	(小林佑介)	435⑥
HBOC 乳癌	(宮原か奈・有賀智之)	437⑥
HBOC 卵巣癌の治療と予防	(志鎌あゆみ)	441⑥
泌尿器科領域の HBOC		
——前立腺癌について	(小坂威雄)	447⑥
HBOC の新しい関連腫瘍	(桃沢幸秀)	453⑥
PARP 阻害薬 up to date	(村井純子)	460⑥
HBOC 診療の今後の診療体制を再考する		
——慶應 HBOC センターの取り組みを通して	(小林佑介)	465⑥
HBOC とゲノム医療における倫理と権利の これから	(李 怡然・武藤香織)	469⑥

◇医師が知っておくべき薬物相互作用の最近の話題

はじめに	(高田龍平)	497⑦
薬物相互作用ガイドライン		
——策定の背景と国際調和に向けた最新の動向	(永井尚美)	499⑦
薬物代謝酵素と薬物相互作用	(山折 大)	505⑦
薬物トランスポーター介在性薬物相互作用評価の ためのバイオマーカーと定量的予測方法	(楠原洋之)	513⑦
Pharmacokinetic booster	(前田和哉)	520⑦
薬物と食品成分間の相互作用	(玉井郁巳)	526⑦

臨床現場における薬物相互作用とマネジメント ——Pharmacokinetic interaction significance classification systems(PISCS)の提案 (大野能之)	531⑦	(貝瀬 峻・影山龍一郎)	875①
特定の背景を有する患者における薬物相互作用 ——薬理遺伝学的多型, 腎障害, 肝障害 (岩本卓也)	535⑦	生体内ダイレトリプログラミングによる皮膚再生 (森脇裕太・他)	879①
◇リアルワールドデータを用いた臨床研究の進化 はじめに (康永秀生)	563⑧	生体内リプログラミングによる膵島細胞の 増殖誘導 (鶴町真也・他)	885①
リアルワールドデータが切り拓く医療の未来 (康永秀生)	564⑧	◇肝線維化とバイオマーカー はじめに——肝線維化を多角的に評価できる バイオマーカーとその臨床応用の可能性 (三善英知)	913⑫
SOS-KANTO 2017 study の研究計画とデータ 収集 (田上 隆)	568⑧	肝星細胞とバイオマーカー (小田桐直志・他)	914⑫
National Clinical Database——全国レジストリ プラットフォームの研究利用 (隈丸 拓)	572⑧	肝疾患病態進展評価に有用な糖鎖関連 バイオマーカー (鎌田佳宏・三善英知)	919⑫
電子カルテ由来診療情報データベース (竹内正人・川上浩司)	576⑧	マイオカインと肝線維化 (橋田竜騎・他)	925⑫
DPC データを用いた研究の現状と今後 (山名隼人)	580⑧	肝線維症治療薬の開発における線維化改善 マーカーの意義 (稲垣 豊・柳川享世)	929⑫
NDB を用いた研究の現状と今後(星野伸晃・他)	585⑧	NAFLD における NASH/肝線維化診断 バイオマーカーの現状と展望 (小玉尚宏)	935⑫
介護データを用いた研究の現状と今後 (宇田和晃・田宮菜奈子)	589⑧	CT, MRI による肝線維化の定量的評価 (辻田有志・他)	941⑫
DeSC データを用いた研究の現状と今後 (笹淵裕介・康永秀生)	595⑧	新規肝線維化マーカー ELF test の可能性 (瀬古裕也)	945⑫
リアルワールドデータに対するデータ駆動型 アプローチとシグナル検出 (岩上将夫・他)	599⑧	肝線維化マーカーのスコアリングシステム (角田圭雄・他)	951⑫
◇神経眼科の最前線 はじめに (石川 均)	785⑩	● TOPICS ●	
昨今の視神経炎の疫学的特徴 (高橋洋平)	787⑩	〔遺伝・ゲノム学〕 VEGF シグナルを介したダイナミックな内皮 エピゲノム修飾と抗血管新生手法の確立 (南 敬)	296④
視神経炎治療 ——これまでとこれから (植木智志)	792⑩	〔生化学・分子生物学〕 微小重力環境における骨格筋可塑性の変化に 対する Nrf2 の役割 (林 卓杜・他)	956⑫
新たな複視の原因——Sagging eye syndrome (國見敬子・後関利明)	798⑩	〔免疫学〕 RNA 分解酵素 Regnase-1 を標的とした 炎症制御法の開発 (吉永正憲・竹内 理)	152②
斜視の外科的治療の進歩 (根岸貴志)	805⑩	CD300a 阻害による脳梗塞後の神経障害の軽減 (小泉仁志・他)	892①
甲状腺眼症の外科治療の進歩——眼窩減圧術 (三村真士)	810⑩	PD-(L)1 阻害療法に伴う有害事象に関わる 免疫応答機序 (塚本博丈)	957⑫
対光反射とメラノブシン (浅川 賢)	815⑩	〔癌・腫瘍学〕 がんが宿主の肝臓に異常をもたらすメカニズム (河岡慎平)	891①
神経眼科領域における OCT, OCTA の役割 (前久保知行)	819⑩	〔神経内科学〕 虚血性脊髄障害の病態生理の新たな知見 (垣花 学)	543⑦
◇生体内リプログラミングによる個体生命機能の制御 はじめに (山田泰広)	851①	大脳皮質一次体性感覚野アストロサイト mGluR5 による 神経ネットワーク再編と慢性疼痛 (小泉修一)	606⑧
ダイレトリプログラミングによる心筋再生 (仲野晃司・他)	853①	〔糖尿病・内分泌代謝学〕 「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版」の キーポイント (福島理文・三井田 孝)	542⑦
リプログラミングによる免疫応答制御 (吉村昭彦)	859①		
リプログラミングによる神経再生 (岩本昌和・他)	869①		
Plagl2 発現誘導および Dyrk1a 発現抑制による 老化神経幹細胞の機能的な若返り			

〔加齢医学〕		(安藤治朗・松村福広)	964⑫
宿主と細菌の共生関係の理解に基づく			
褥瘡感染制御戦略 (仲上豪二朗・國光真生)		824⑩	
〔脳神経外科学〕			
COVID-19 パンデミック下における当院での			
脳卒中診療の変化と現状 (平山晃大)		477⑥	
〔整形外科学〕			
C型ナトリウム利尿ペプチドの骨伸長促進作用と			
軟骨細胞内Ca ²⁺ シグナル (市村敦彦)		475⑥	
〔神経精神医学〕			
Xenophobia(外国人恐怖症) (桂川修一)		154②	
治療抵抗性統合失調症に対する非定型抗精神病薬			
クロザピンの使用 (上野幹二)		826⑩	
〔産科学・婦人科学〕			
フェムテックへの期待 (関口由紀・山田奈央子)		604⑧	
〔医療行政〕			
ICD-11改訂——国内の普及に向けた取り組みと			
今後の課題 (横堀由喜子)		298④	
●連載●			
◇人工臓器の最前線			
17. 人工臓器開発におけるレギュラトリー			
サイエンス (岩崎清隆)		156②	
◇医療DX——進展するデジタル医療に関する最新動向と			
関連知識			
6. SaMD(国内/米国)動向調査			
(袴田和巳・百武裕昭)		163②	
7. スマホアプリを活用した糖尿病重症化予防の			
取り組み (津下一代)		301④	
8. 眼底写真からAIが読み取る全身疾患の			
可能性 (高橋秀徳)		481⑥	
9. ビフォーコロナからウィズコロナへ、			
オンライン診療のこれまでと課題 (桐山瑤子)		545⑦	
10. AIを用いた感染症診断の可能性			
(塩田祥大・沖山 翔)		609⑧	
11. スマートフォン医療機器“Smart Eye			
Camera”を使用した眼科遠隔診療			
(清水映輔・他)		828⑩	
12. 不眠医療のデジタルトランス			
フォーメーション (山本慎太郎・他)		895⑪	
13. AIの医療応用に関する法的留意点——今後の			
発展のための土台の議論 (堀尾貴将)		959⑫	
◇救急で出会ったこんな症例——マイナーエマージェン			
シー対応のススメ			
はじめに (間藤 卓)		834⑩	
1. トゲが刺さった！			
——対応と合併症 (鷹栖相崇)		836⑩	
2. 海でのトラブル——毒と棘 (鷹栖相崇)		901⑪	
3. 手指切創や裂創に神経損傷・腱損傷が隠れて			
いませんか？——神経損傷・腱損傷を見逃すな			
●速報●			
高気圧酸素治療			
——現状と今後の可能性 (合志清隆)		847⑩	
●特報●			
■第59回(2022年度)ベルツ賞受賞論文1等賞			
アルツハイマー病および類縁疾患の病態解明			
研究ならびに診断・治療・予防法の開発			
(樋口真人)		212③	
■第59回(2022年度)ベルツ賞受賞論文2等賞			
アルツハイマー病：疾患メカニズムに即した			
診断・評価と疾患修飾による治療・予防の			
実現を目指して (岩坪 威)		238③	
●フォーラム●			
◇グローバルヘルスの現場力			
14. ガーナ——「生きる力」を育む母子手帳			
(萩原明子)		169②	
15. タイ北部におけるHIV感染者ケア強化事業			
——サンパトンモデルの形成 (北島 勉)		308④	
16. コロナ危機・ウクライナ危機下のパレスチナ難民			
——今グローバルヘルスに問われているもの			
(清田明宏)		488⑥	
17. 戦禍のなかで誕生する新しい命			
——パレスチナからのメッセージ (藤屋リカ)		552⑦	
18. マラリア			
——伝統的知識からの解放 (狩野繁之)		617⑧	
◇日本型セルフケアへのあゆみ			
18. よくわかるがんゲノム医療①：			
がん遺伝子パネル検査 (児玉龍彦)		313④	
19. よくわかるがんゲノム医療②：			
病的バリエーションの臨床的意義 (児玉龍彦)		971⑫	
◇病院建築への誘い——医療者と病院建築のかかわりを考			
える			
Vol.9 (亀谷佳保里)		842⑩	
◇医療MaaS——医療と移動の押韻			
4. 住処の隅から (横山優二)		319④	
5. 自治体の生きがい (横山優二)		558⑦	
6. 最強の勉強法 (横山優二)		907⑪	
●書評●			
『相談事例から考える 研究倫理コンサルテーション』			
(松井健志 監修・編著／山本圭一郎・伊吹友秀・			
井上悠輔 編著) (田代志門)		621⑧	

●第1土曜特集●

◇疾病予防・健康寿命延伸に資する栄養・食生活とは？

はじめに (津金昌一郎) 1①

■総論

栄養・食生活と健康寿命延伸 (井上真奈美) 4①

■疾患発症予防に関わる栄養・食生活

不健康な食事に伴う疾病負荷

——世界の疾病負荷研究から (野村周平) 12①

がん (岩崎 基) 17①

国内コホート研究の知見に基づく循環器疾患

予防のための栄養・食生活

(丸山広達・山岸良匡) 25①

食生活習慣とうつ病リスク (功刀 浩) 33①

認知症を防ぐ食生活とは (野崎昭子・三村 将) 39①

日本人成人の栄養と骨粗鬆症・骨折予防に関する

エビデンス (中村和利) 45①

食事・栄養摂取と眼疾患 (羽入田明子) 51①

■疾患重症化予防にも関わる栄養・食生活

2型糖尿病の予防とコントロールのための食事と

食事療法 (曾根博仁) 58①

慢性腎臓病 (今田恒夫) 66①

高血圧・脂質異常症の生活習慣改善

(鹿島レナ・小久保喜弘) 72①

■栄養・食生活と健康——ライフコースの観点から

妊娠期の栄養・食生活——「妊娠前からはじめる妊産婦の

ための食生活指針」を踏まえて (瀧本秀美) 82①

成育期の栄養・食生活 (石塚一枝) 87①

高齢期の栄養・食生活 (大塚 礼) 90①

■持続可能で健康的な食事

和食(日本の食事)と疾病予防・健康寿命延伸

(八谷 寛・福田知里) 98①

持続可能な食事と健康寿命延伸——持続可能で

健康的な食事に関するガイドラインへ向けて

(片桐諒子) 104①

◇肺高血圧症のすべて——病態研究と治療法の最前線

はじめに (波多野 将) 325⑤

■総論

2021~2022年における肺高血圧症の臨床

(巽 浩一郎) 328⑤

肺高血圧症の鑑別診断 (土肥由裕) 336⑤

肺高血圧症における遺伝学的知見と

その臨床的意義 (桃井瑞生・他) 343⑤

■各論

特発性/遺伝性/薬物誘発性肺動脈性肺高血圧症の

診断と治療 (青木竜男) 350⑤

膠原病性肺動脈性肺高血圧症の診断と治療

(白井悠一郎) 358⑤

成人先天性心疾患に伴う肺動脈性肺高血圧症の

診断と治療 (赤木 達) 364⑤

その他の肺高血圧症——門脈肺高血圧症と

HIV感染に伴う肺高血圧症 (小山雅之) 370⑤

左心系心疾患による肺高血圧症の診断と治療

(杉村宏一郎) 374⑤

慢性呼吸器疾患に伴う肺高血圧症の診断と治療

——PAH特異的治療薬による治療は必要か？

(倉石 博) 380⑤

慢性血栓塞栓性肺高血圧症の診断と治療

(皆月 隼) 386⑤

詳細不明な多因子のメカニズムによる

肺高血圧症の実態にせまる (足立史郎) 392⑤

小児における肺高血圧症の診断と治療

(小垣滋豊) 399⑤

■トピックス

肺動脈性肺高血圧症の病態解明と新規治療の

展望 (中岡良和) 408⑤

Pulmonary tumor thrombotic microangiopathy

(PTTM)の診断と治療 (新保麻衣) 415⑤

肺高血圧症に対する肺移植の現状と課題

——長い肺移植待機期間と周術期管理

(此枝千尋) 421⑤

肺高血圧症に関わる医療制度 (波多野 将) 426⑤

◇HIVの発見から40年——医学はどう戦ったか、これからどう戦うのか

はじめに (湯永博之・岡 慎一・満屋裕明) 645⑨

■巻頭カラー

座談会『HIV/AIDS診療の過去・現在・未来

——医学はどう戦ったか、教訓と残された課題』

(満屋裕明・岡 慎一・白阪琢磨・南 留美・生島 嗣)

628⑨

データで見る HIV 感染症と AIDS

(鎌田伸好・満屋裕明) 640⑨

■HIV/AIDSとその治療の新展開

HIV 感染症の治療の原則とその進展(白阪琢磨) 648⑨

薬剤耐性 HIV の現状と課題 (杉浦 互・他) 657⑨

HIV/AIDS の日和見感染症・AIDS 非指標悪性

腫瘍 (照屋勝治) 662⑨

HIV/AIDS と性感染症——代表的な性感染症に

対する治療を中心に (安藤尚克・湯永博之) 671⑨

HIV とウイルス性肝炎——A 型肝炎・B 型肝炎

(古賀道子・四柳 宏) 677⑨

HIV/HCV 重複感染と肝移植 (江口 晋) 683⑨

HIV 母子感染対策 (田沼順子) 689⑨

女性・妊婦・小児・高齢者の HIV/AIDS 診療

(南 留美) 694⑨

HIV 感染者における COVID-19

——予後と診断・治療時の注意点 (中本貴人) 701⑨

2 剤レジメンと長時間作用型治療薬 (松村次郎) 706⑨

HIV 感染症と sexual health

——細菌性性感染症からヒトパピローマウイルスワクチンまで

(水島大輔) 714⑨

臨床開発のパイプラインにある新規化合物

(青木 学・中田浩智)	719⑨	(青木宏美・満屋裕明)	754⑨
HIV/AIDS の“治癒”を求めて (前田賢次)	726⑨	エイズと報道——危機の時代の伴走者として (宮田一雄)	761⑨
■ HIV 感染予防の新展開		HIV/AIDS の予防とケアに係る NGO のあり方 (生島 嗣)	769⑨
HIV 曝露前予防内服(PrEP)の新たな展開 (谷口俊文)	732⑨	■特別寄稿	
HIV/AIDS に対する中和抗体とワクチン開発の今 (松下修三)	739⑨	Cold Spring Harbor Laboratory Symposium	
HIV 検査システムの構築と拡充・郵送検査 (高野 操・岡 慎一)	747⑨	Fifty Years of Reverse Transcriptase : 逆転写酵素 50 年の歴史 (杉浦 互・満屋裕明)	776 ⑨
■ HIV/AIDS と市民社会			
HIV/AIDS への対応——世界の現況			

* * *